

すらら AL 最終レポート課題

「平等な社会を実現するためにわたしたちにできることは」

校舎名「英進館中間校」

チーム名「S・O・S」

メンバー

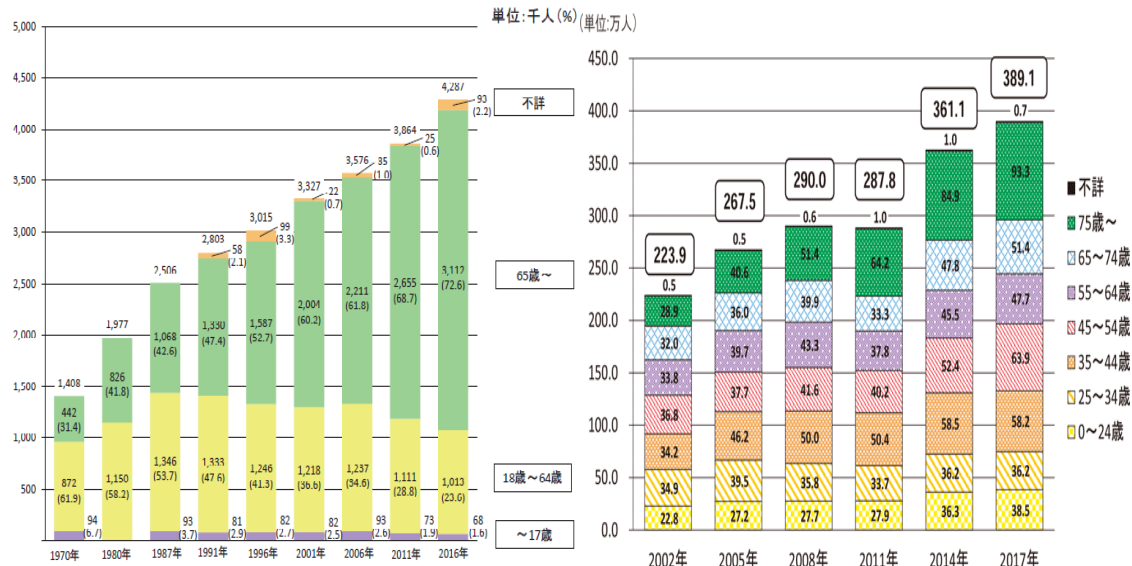
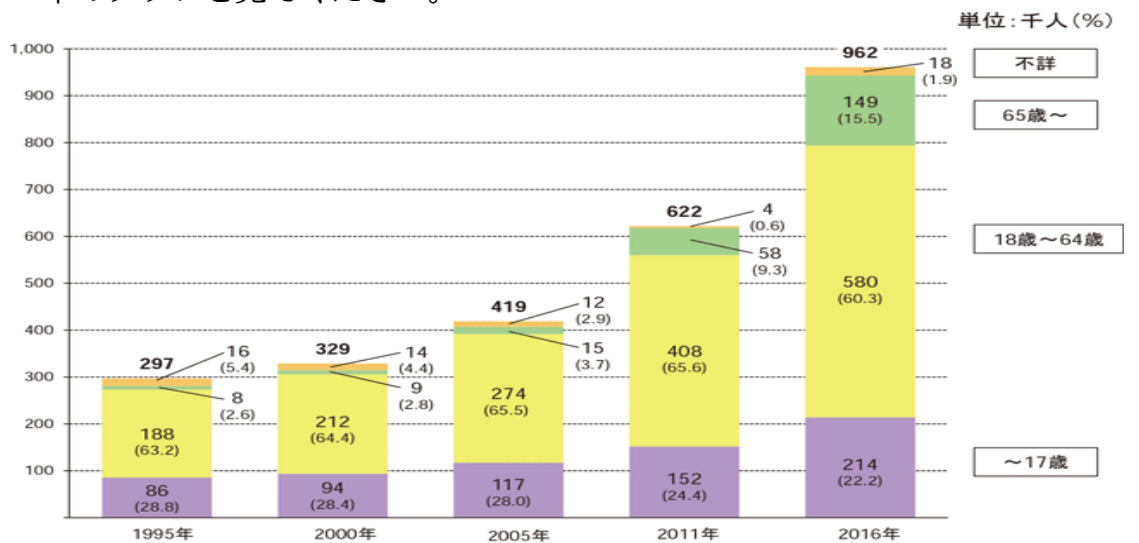
- ・ 城水 悠希(担当：障がい者について)
- ・ 岡本 康誠(担当：貧困について)
- ・ 諏訪下 泰地(担当：ジェンダーについて)

## ～きっかけ～

僕は今回のテーマである不平等について考えて見たところ、最初に障がい者というテーマが思い浮びチームでいろいろ出し合いこの障がいというテーマを担当することになったからです。

## ～現在の障がいの現状は～

下のグラフを見てください。



参考資料 障害者の状況 | 令和元年版障害者白書 (全体版) | 内閣府より

## ～差別の現状～

次の表を見てください。

分野	事例	改善提案
福祉	保育所の面接時、「腐った魚のような目をしている。障害児の母は働かないで自分の子供の面倒を見なさい」と言われた。 保育所で受け入れ拒否され、半日で帰宅させられたが保育料は満額取られた。学童保育で、受け入れ拒否され「自閉症の子がいなければ普通の子が10人入れる」と言われた。	教師・保育士の養成課程において、障害について学び、実習を義務づけ、差別禁止を理解させる。 できない者には免許を与えない。
福祉	ある市で重度心身障害児が保育所に入所する場合、「自分でスプーンやフォークを持ってない」「自分一人で歩くことができない」という理由で入所を断られるという。	「予算がないので加配が付けられない」というのであればその改善を。
福祉	喫茶店で学生2人が「アルバイトをしていた障害者施設で、職員が自閉症の子を投げ飛ばして、その子が大泣きした」という話をして笑っていた。	障害者施設は、支援職員を採用する際には学歴だけではなく、仕事に対する熱意や心根を重視するよう県から指導してほしい。
福祉	町立保育所に入所を拒否された。 小学校は普通学級に進学したいが不安。	

条例制定当時に寄せられた「障害者差別に当たると思われる事例」(福祉)/千葉県より

この表は、障害を持っている人が実際に経験したとされる事例です。この表の他にもいろいろな差別が全国各地で行われています。そして、この差別が問題となりいろいろな取り組みがされています。しかし、障がい者への差別への意識がまだまだ低いと僕は思います。

## ～差別解消への取り組みとアイデア～

差別解消への取り組みは、次のようなことがあります。

- ・学校やイベントで呼びかける
- ・法律をつくる
- ・メディアで情報を発信する

このような活動を行って障害について考えるきっかけをつくっています。しかし、まだ全員にこの考えが浸透しているとはいえません。そこで、僕は一つの案を考えてみました。

それは、各地域で人権ポスターのように障害者ポスターを作成することです。なぜなら、障害者ポスターはコンクールなどがあるけれども、人権ポスターのように各地域で毎年のようにやっていないからです。

また、人権ポスターを作成することによって人権のことを深く学べるきっかけをつくることできるように、障がいでも同じ効果が得られると思うからです。



障害者週間のポスター優秀賞 - 佐野日本大学中等教育学校より 2019 年度「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間ポスター」入賞作品集 - 内閣府より

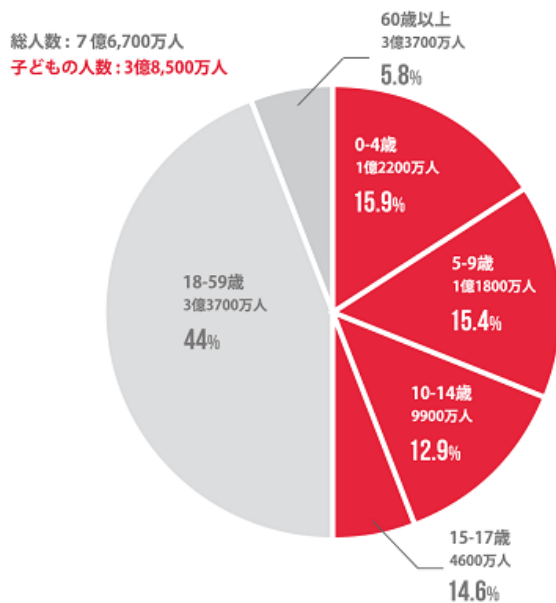
上のことを今の現状を踏まえて提案します。

## 貧困格差について調べようと思った理由

最近テレビなどでよく取り上げられ耳にする **SDGs【持続可能な開発目標】** の一つ目の目標に「**貧困をなくそう**」がある。よく話題に上がる話題だが、貧困は具体的にどのような問題があるのか、貧困層と裕福層を比較した結果貧困問題の現状、行われている活動をもとに自分たちにできることを考えていきたい。

## 貧困問題の現状

現在、約七億六千万人の人々が極度の貧困状態に陥っており、しかもその半分以上の約三億八千五百万人が僕たちのような子供で、一日当たり約211円で生活している子どもが世界にはたくさんいると知って驚いた。下のグラフは、年齢別の貧困に陥っている人々の割合をまとめたグラフだ。



## グラフを見て感じたこと

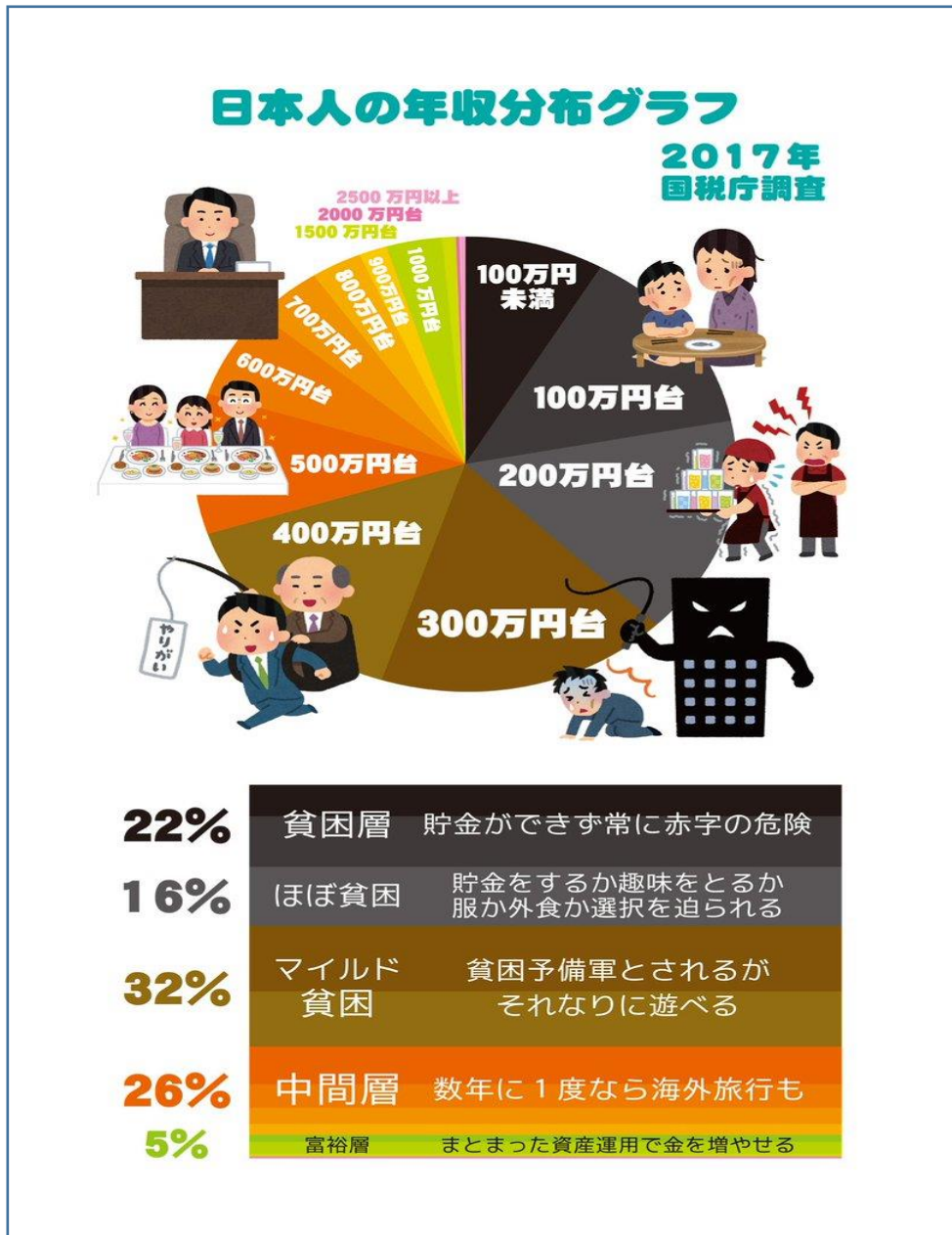
上のグラフを見ると、0～17歳の子供の割合は、合計50.1%つまり、約50%で、特に0～4歳、5～9歳の子供の人数が1億人越えと多いことを知り、僕たちは、普段何気なく暮らしているが、それが幸せだということや、貧困という問題の深刻さを改めて感じた。

## 貧困層と裕福層の格差

世界では、貧困層と裕福層が大きく分かれる。世界の人口の半分が保有する額は、世界の総資産の1%未満で上位10%の人が総資産の82%上位1%が半分近くを保有している。

## グラフを見て気づいたこと

日本は豊かな国だという印象があり、貧困や、ほぼ貧困という層が少ないと考えていたが、実際には4割近くを貧困とほぼ貧困という層が占めていた。また、マイルド層が特に多く、日本の中でも貧困層の割合が、半分以上を占めていることがグラフからわかる。



## 実際に行われている活動の例

さっき説明した通り世界の貧困に陥っている人の半分以上は、子供と分かったので、主なプロジェクトである、「教育支援」、「経済支援」について調べた。

### 教育支援について

教育支援は、主に義務教育を受ける子供がいる家庭に対して、就学援助の制度により、多くの費用を援助していて、他にも様々な活動がある。

### 経済支援について

経済支援は、主にひとり親家庭への支援が多く、理由は、ひとり親家庭では、働き手が怪我や病気などになると、収入源がなくなり経済的にも苦しくなってしまう

という事例が多いからだ。

### 調べてみて自分たちにできること

貧困問題は今もなお多くの人を苦しめていて、貧困層と裕福層では大きく格差があることが分かった。貧困問題解決のため僕たちができることは、貧困問題を解決するために活動している団体に募金したり、そういう団体が実施しているボランティア活動に参加したりすることが大切だということが分かった。

## 題材にジェンダーを選んだ理由

僕が、平等というテーマで、「ジェンダー」を題材に選びました。なぜ「ジェンダー」を題材に選んだかという点、「ジェンダーレス」という言葉をよく聞くからです。最近よく耳にする「ジェンダー」という言葉について深く調べてみようと思いました。次のページからは、まずジェンダーの説明です。

## トランスジェンダー

- ・性自認と身体的性が異なる状態の方のことを言います。
- ・トランスジェンダーの定義は歴史上、その意味が移り変わってきたこともあります。

## 性同一性障害との違い

トランスジェンダーと同じ、性自認と身体的性が一致しておらず、外科的手術を望む状態の方のことです。

## クロスドレッサー

自分と反対の性別の服装を着る方のことです。趣味、し好の一つとして異性のファッションとして着るだけです。

## トランスヴェスタイト

これも自分と反対の性別の服装を着る方のことです。それを身に着けると性的興奮を感じるそうです。あくまで性表現として自らの性別とは反対の服装を着ることにより、興奮するということです。



## X ジェンダー

身体的性にも関わらず、性自認が男性にも女性にもあてはまらない方のことです。X ジェンダーには、中世・両性・無性・不定性の 4 つがあるとされています。

- ・中性…「男性と女性との中間地点に自身が存在する」という認識をしている方のことです。
- ・両性…「男性でもあり、女性でもある」と認識している方のことです。男女両方に属す感覚だそうです。
- ・無性…男性と女性のどちらの要素も持たない方のことです。つまり、男性と女性の両方の認識がないのです。
- ・不定性…自分自身の性自認が流動的な方のことです。言い換えると自分自身の性自認が一定に保たれていないということになります。

## ジェンダーレス

身体的性の平等でなく、社会的な立場のことを示します。

## 男女差別の例

暴力による被害…男性と比較して、女性は非力であることから、暴力を受けることも少なくありません。日本では、結婚したことのある女性のうち 7 人に 1 人が身体的暴力の被害者であるというデータもあります。

早期婚や児童婚…児童婚は、子供の権利を侵害し、成長発達にも悪影響を与えることから、先進国の多くで認められていません。また、児童婚の多くが妊娠や出産をしなければならない場合が多く成熟していない体では、妊産婦死亡リスクが高まります。

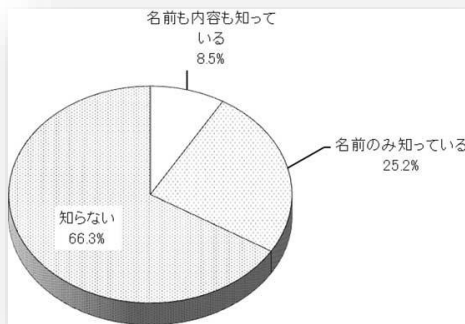
男女の教育格差…女の子が初等教育就学年齢になっても小学校にさえ通えていないということがあります。これには社会や文化的習慣の、不十分な法整備、家庭での経済問題、男女別のトイレがないことによるプライバシーの侵害、女兒への暴力や搾取が行われる可能性がある環境、女性教員の不足などの理由があります。

## 男女差別をなくすための取り組みの例

1. 男女の賃金格差を法律で禁止する。
2. 英国がジェンダー偏見を生む広告表現を規制する。
3. 男性トイレにもおむつ交換大の設置を義務化する。

## ジェンダー平等を実現するために思うこと

僕は、ジェンダー平等を実現するためには、まず国民ひとりひとりが、ジェンダーのことについて、理解を深めることが大事だと思いました。なぜ、そう思ったかという  
と…



理解していない人が 60%を上回っているからです。

## 感想

僕は「ジェンダー」について調べてみて、理解が深まったと思います。ジェンダーの平等だけでなく、他にも様々な不平等があると思うので、平等にするためにはどうすればよいか考えられる人になりたいです。

# 出典

- ・ 障害者の状況 | 令和元年版障害者白書（全体版） | 内閣府ホームページ
- ・ 条例制定当時に寄せられた「障害者差別に当たると思われる事例」（福祉） / 千葉県ホームページ
- ・ 障害者週間のポスター優秀賞 - 佐野日本大学中等教育学校ホームページ
- ・ 2019年度「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間ポスター」入賞作品集 - 内閣府ホームページ
  
- ・ <https://www.borderless-japan.com/academy/49926/>.
- ・ <https://www.unicef.or.jp/index.html>
- ・ [https://.gooddo.jp/magazine/.poverty/asia\\_poverty/japan\\_poverty/](https://.gooddo.jp/magazine/.poverty/asia_poverty/japan_poverty/).
- ・ [https://www.worldvision.jp/children/.poverty\\_17.html](https://www.worldvision.jp/children/.poverty_17.html)
- ・ [https://gooddo.jp/magazine/.poverty/children\\_poverty/108/](https://gooddo.jp/magazine/.poverty/children_poverty/108/)
- ・ <https://togetter.com/li/1315928>
  
- ・ <https://www.Jobrainbow.jp/magazine/transgid>
- ・ <https://www.Jobrainbow.jp/magazine/xgender>
- ・ <https://www.Ideasforgood.jp/2019/06/20/gender-inequality-matome/>  
[https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/01/23/01\\_03.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/01/23/01_03.html)